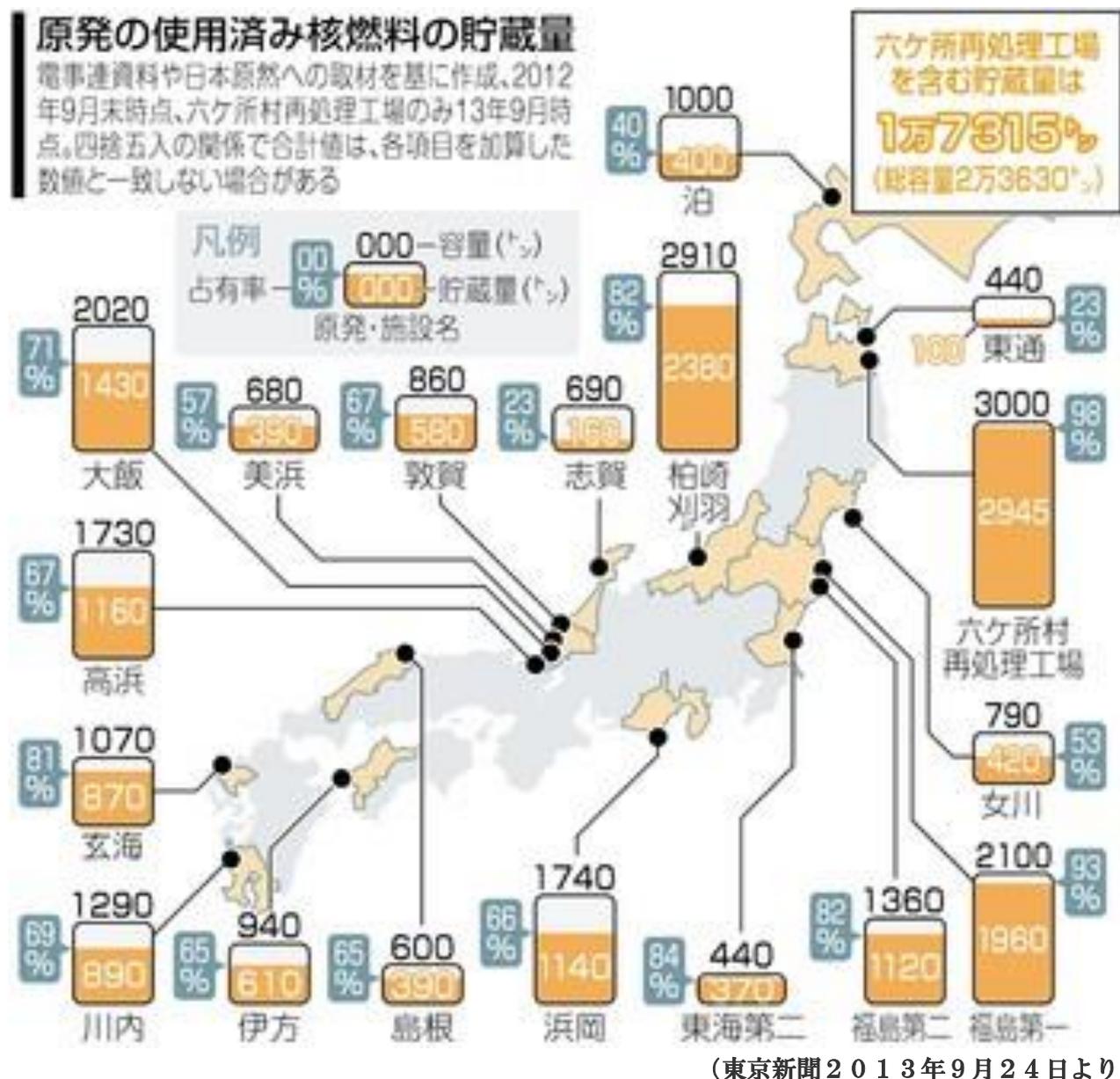


日本列島は行き場のない核のゴミで溢れている。



もし、東電福島原発事故が起こらず、以前のように原発が稼働していたら、福島第一原発は1年以内に、第二原発は2年以内に、柏崎刈羽原発は2年あまりで敷地内は使用済み燃料であふれていた。事実、福島第一原発の4号機の燃料プールには移動するはずの使用済み燃料が約千体近く保管されていた。それが、いまでも手をつけられず破壊された建屋の上部で冷やし続けられている。

再稼働すれば、数年で全国どこの原発も使用済み燃料の置き場がなくなり、事実上運転できなくなる。まさにトイレなきマンションの実態がある。